ひろさき
市議会だより
令和8年3月発行　第85号

12月定例会・議案など……２～３
12月定例会・一般質問……３～７
議案等に対する各議員の賛否状況……６～７
議員の行政視察など……８
委員会等活動報告……８

令和７年10月９日から令和７年12月31日までの出来事を掲載しました。

写真は、11月14日(金)、弘前工業高校建築科の３年生11人によって行われた、ミニチュア建造物「かくは宮川デパート」の修復作業の様子です。
追手門広場内には、明治から大正期に市内に実存した建造物14棟が、10分の１の模型で展示されています。（市広聴広報課提供）

議　会　ト　ピ　ッ　ク　ス

第12回弘前子ども議会 子どもたちが考える"こんな弘前にしたい"

12月25日(木)に市役所議場において、第12回弘前子ども議会が開催され、小学校から６校12名の児童、中学校から２校６名の生徒が参加しました。児童生徒は、より良い学校や地域、まちづくりについて、これまで皆で考えてきたことを市に対し質問したり、意見やアイデアを述べていました。それを受け、市では現状や課題を交えながら答弁し、児童生徒は熱心に耳を傾けていました。市政や議会が市民生活と直結していることを理解する良い機会となりました。

「ねぷた楽器の貸し借り」について堂々と質問する致遠小学校の児童

議会改革の検討状況について（中間報告）

12月24日(水)の本会議において、中間報告を行いました。以下に主な報告を掲載いたします。

○請願者による意見陳述について

令和６年第３回定例会で中間報告しているが、その後、意見陳述の実施方法等を改めて協議を行い結論を得たことから、議長に対し、令和７年５月29日付で議会運営委員会で協議するよう答申した。

○正副議長選挙に係る所信表明について

所信表明の実施方法等について結論を得たことから、議長に対し、議会運営委員会等で協議するよう答申することとした。

○議員定数の見直しについて

委員からは、「議会基本条例では将来の予測及び展望を考慮すると規定されていることを踏まえ、10年後の人口減少や議会の機能強化等を総合的に勘案し、２人削減が妥当である」、また、「人口規模が同等の自治体と比較しても特別多いわけではなく、議会の活性化の観点からも現状維持とするべきである」、さらに、「議会の見える化や委員会活動の強化を図る上で、現状維持とするべきである」との意見が出され、委員会としてこれ以上の意見集約は見込めないものと判断した。

令和７年第４回定例会

市長提出議案　30件

【会期：令和７年11月28日（金）～12月24日（水）】

●令和７年度弘前市一般会計補正予算（第８号）

弘前城中濠護岸整備事業に係る経費などを計上するほか、障害者総合支援法等関係事業に係る経費などを追加するとともに、事業費の確定等に伴い減額するものです。

また、継続費、繰越明許費、債務負担行為及び地方債について所要の補正をするものです。

補正額　13億1717万3千円

●令和７年度弘前市一般会計補正予算（第９号）

新陳代謝・給与改定等に伴う報酬・給料・職員手当等の人件費などを追加するほか、岩木海洋センター温水ボイラー取替工事などを計上するものです。

また、繰越明許費及び地方債について所要の補正をするものです。

補正額　5億9974万8千円

●令和７年度弘前市一般会計補正予算（第10号）

物価高の影響を受けている市民生活等への支援として、子育て世帯に対する応援手当の支給及び県産米等の購入に使用できる商品券の配布に係る経費を計上するほか、従業員の賃上げを行う市内中小企業等に対する奨励金の交付に係る経費を追加するものです。

また、繰越明許費について所要の補正をするものです。

補正額　13億8086万円

12月補正後の令和７年度予算

一般会計	931億1444万2千円 （＋約33億円）
特別会計	426億3908万9千円 （＋約5億6千万円）

補正予算（第10号）の事業をご紹介します

事業内容や、審議過程における主な質問・答弁内容を掲載いたします。

物価高対応子育て応援手当給付事業

（事業費：約4.3億円）

子育て世帯に対し応援手当を支給

【対象者】　児童手当支給対象児童を養育する父母等
※令和８年３月31日までに出生した児童を含む

【給付額】　子ども１人当たり２万円

審議過程において、事業概要や給付方法に関する議員からの質疑に対し、市からは、本事業は物価高の影響を強く受ける子育て世帯等を力強く支援し、子供たちの健やかな成長を応援する目的で支給するもので、支給方法は、令和７年９月分の児童手当受給者や12月末までに児童手当の請求があって認定が認められた方は、申請不要で振り込むよう手続きを進めており、令和８年１月から３月までの出生児童がいる方などは、申請が必要となるとの答弁がありました。

第３弾！弘前お米とくらし応援券配布事業

（事業費：約8.8億円）

県産米に合わせて同時に購入する他の食品や生活用品に使用できる商品券を配布

【対象者】　令和８年１月１日に住民基本台帳に登録がある市民

【配布物】　１人当たり５千円の商品券

審議過程において、第二弾との変更点や事業効果に関する議員からの質問に対し、市からは、変更点として、１人当たりの配布額を３千円から５千円に増額し、市民の皆様が利用しやすいように内容量や個数の制限もなく、県産米であれば銘柄も指定しないこととしたとの答弁があり、事業効果としては、県産米の消費拡大のほか、地元にお金が還元されるとともに、高騰しているお米をはじめとする食料品や生活用品、灯油の購入などが市民の皆様の家計負担の軽減につながると考えているとの答弁がありました。

賃上げ応援奨励金交付事業追加

（事業費：約0.8億円）

従業員の賃上げを行う市内中小企業等に対する奨励金を追加

【対　　象】　2.5%以上の賃上げを行う市内中小企業等

【対象期間】　令和７年４月１日～令和８年２月28日

【交 付 額】　対象従業員１人当たり５万円
（上限額100万円／社）

審議過程において、事業効果に関する質問に対し、市からは、募集開始からわずか３日後に予算額に達したことで、市内の中小企業等が賃上げへの関心と意欲が非常に高いことが確認され、また、早期に上限に達したことで、申込みを諦めた事業者が一定数いると考えており、賃上げに取り組む事業者を支援することで、賃上げの流れを確かなものとしながら、労働者の所得向上と家計の安定化、消費活動の活性化を図る意味で、市全域に経済効果があるものと認識しているとの答弁がありました。

請　願　２件

○地域の医師不足解消に関する請願書　…不採択

○地域医療を守るための社会保障制度の拡充を求める請願書　…不採択

陳　情　２件

※陳情書は議員に参考配付しました。

○国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情書

○臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情

一　般　質　問

12月９日～12日の４日間で一般質問をした議員の質問・答弁の要約を掲載いたします。
※敬称略。（　）は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。
※ＱＲコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。

志村　洋子
（創和・公明）

伝統工芸後継者について

問　津軽塗後継者の現状、確保について。

答　津軽塗は県内で唯一国の伝統的工芸品に指定されている伝統工芸品である。青森県漆器協同組合連合会では市補助金を活用し、津軽塗後継者育成事業の一つとして、津軽塗の研修を実施しており、修了した18名のうち津軽塗をなりわいとしている方は11名。残る７名も津軽塗技術保存会が実施する技術を後世に伝承させるための伝承者養成事業において研修を受けている方もおり、多くの研修修了者が現在も製造や技術研鑽に励んでいる。旧ワークトーク弘前へ移転する弘前市伝統産業会館には新たに貸し工房を設置し、工房を持つことが難しい職人が早期に独立し、活躍できる環境を整備していく。

〈その他の質問項目〉
○農業の担い手不足について　○弘前市における土地区画整理事業について

佐藤　哲
（滄桑之会）

弘前市賃上げ応援奨励金について

問　体力のある企業への支援であり、企業体力格差をさらに大きくしたのではないかと考えるが、市の見解を問う。

答　当市の経済環境は、物価高騰の影響により、事業者や市民の負担が大きい状況が続いており、所得の向上と経済の循環のために市独自の対策が必要と考え、「賃上げ応援奨励金交付事業」を創設。賃上げに積極的に取り組む事業者を後押しし、従業員の所得向上と家計の安定化を図り、地域経済の循環につなげることが目的。募集開始３日後には申込みが188社と予算額に達し、11月28日現在、補欠事業者を含め234事業者の申込み。雇用保険に加入した従業員であり、月給などを最低賃金の上昇とは別に、2.5%以上引き上げる「ベースアップ」分が対象。市では、今後示される交付金の交付額を踏まえ、一刻も早い支援を実現する。

木村　隆洋
（創和・公明）

弘南鉄道について

問　弘南鉄道に対する現状認識を伺う。

答　利用者及び収入は改善の兆しがある一方、弘南線の大規模修繕等で支出も増加傾向にあり、抜本的な収支改善には至っておらず、全国のローカル鉄道事業者同様、厳しい経営環境にあると認識している。まずは弘南線・大鰐線の安定運行の確保に注力し、関係機関と連携し持続可能な地域公共交通を検討していく。

指定管理者制度について

問　物価高・燃料高が指定管理者の運営に与える影響について市の見解を伺う。

答　今般の最低賃金引上げや物価高騰等は、指定管理料の変更を申し出るやむを得ない事由に該当するものと認識しており、指定管理料の増額についての補正予算案を提出したところである。令和８年度についても施設の管理運営に影響が生じないよう適切に対応していく。

工藤　裕介
（弘前さくら未来）

電気バス導入支援後の運行実績及び検証

問　導入車両の販売元のＥＶモーターズ・ジャパンのバスに不具合があったことに伴う、具体的な対応経過等を伺う。

答　弘南バス株式会社では、国と市の補助を活用しＥＶモーターズ・ジャパン製の電気バス２台を導入し、令和７年３月より土手町循環バスとして運行。大阪・関西万博の輸送に使用されていた同社製電気バスで複数の不具合が確認され９月上旬に国から同社に総点検の指示があった。弘南バスは９月上旬から電気バスを運行休止し、９月中旬にＥＶモーターズ・ジャパンが安全性に関わる部品等の点検を行い、９月下旬に追加点検も実施されたが、異常が確認されず運行を再開した。今後、冬期間のバッテリー消費量等、寒冷地での有用性を検証していく。

〈その他の質問項目〉○当市の教員確保対策と教育の質の維持・向上について

須藤　江利加
（日本共産党）

弘前市の子ども・子育て支援について

問　当市の出生数の状況等について伺う。

答　市町村合併した平成18年の1,359人をピークに減少傾向が続き、令和６年は717人と、初めて800人を割り込む状況となっている。令和３年に国立社会保障・人口問題研究所が行った第16回出生動向基本調査では、夫婦が理想の数の子供を持たない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」との経済的理由が52.6%で最も高かった。このような状況の中、市では総合計画の分野別施策の一つに「子育て」を掲げ、結婚や妊娠・出産・子育てにおける必要な支援を切れ目なく提供し、安心して子供を産み育てられる環境の充実を図るため、保育料の軽減などの各種支援に取り組んでいる。

〈その他の質問項目〉○生理の貧困について　○市営住宅における入居者死亡後の残置物について

三　浦　　行
（日本共産党）

当市における病院の現状と支援について

問　病院赤字の要因について市の見解は。

答　物価高騰や人件費の増大などの実情が、収益の大部分を占める診療報酬へ反映されていないことが、経営を圧迫している要因であると考えられる。今後も地域の医療関係者と情報共有を図りながら、国や県の動向を注視し、機会を捉えて要望等を行っていく。

賃上げ応援奨励金交付事業について

問　追加予算を組む考えはあるか伺う。

答　本奨励金は、地域における賃上げの動きを促す上で、一定の効果があったものと捉えており、賃金水準の改善に向けた後押しを引き続き進めていく。今後示される国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の当市への交付限度額を踏まえ、一刻も早い支援を実現していく。

〈その他の質問項目〉
○今冬の除排雪の取組について

樋川　篤子
（弘前さくら未来）

教育行政について

問　学校と地域との連携、ＰＴＡの在り方について。

答　コミュニティ・スクールは、ＰＴＡ活動を含む保護者・地域・学校との連携における重要な機能であると捉え、主催する研修会の充実等を図るとともに、マネジメントを担う校長に助言しながら、地域と共にある学校づくりを推進する。

あおもり国スポ・障スポについて

問　開催後に地域に残る財産であるレガシーについての考えを伺う。

答　市では、開催を単なる一過性のイベントとすることなく、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の拡大による、地域スポーツのさらなる発展を図るとともに、多彩な地域資源の発信と、交流人口の増加による地域振興の活性化につなげていくことがレガシーとなるものと認識している。

成田　大介
（弘前さくら未来）

リーディングプロジェクト（みらいの健康）について

問　これまでの施策の成果を伺う。

答　弘前市総合計画後期基本計画では、「ひとの健康」「まちの健康」「みらいの健康」に関する取組をリーディングプロジェクトとして位置づけ、一体的かつ重層的に様々な施策を推進しているところである。「みらいの健康」では大きく３つの目的を掲げ、プロジェクト指標のうち、地域産業を支える人材育成事業参加者数は、既に目標値を達成。引き続き分野横断的に総力を挙げ、「あずましいふるさと」弘前市の未来を担う人材が活躍する「みらいの健康」の実現を目指す。

〈その他の質問項目〉
○小規模特認校について　○不登校への居場所づくり支援について　○市立中学校の制服について　○性的マイノリティに関する取組について

蒔苗　博英
（創和・公明）

７年産りんご生産の総括について

問　３年連続で生産量が40万トンを下回る中、９月に公表された県の青森りんご総合戦略の目標達成に向けた市の取組は。

答　雪害を受けた園地再生に必要な苗木の購入助成や農道除雪等の雪害対策、今年度から強化している鳥獣害対策にしっかり取り組み、生産量の回復と安定した生産活動につなげ、生産量の維持・増加や新たな担い手育成・確保に向けた対策についても新たな事業の構築を検討する。

国民健康保険料の子ども・子育て支援納付金について

問　令和８年度の負担に関し伺う。

答　物価高騰等による厳しい家計の状況を踏まえ市で検討してきた結果、基礎賦課額の保険料率の引下げを行うこととし、子ども・子育て支援納付金を加えても、実質一部の高所得世帯を除き、これまでと比べ保険料総額は引き下げられる。

掲載内容は一般質問の一部です。正確には会議録をご参照ください。会議録は、市立弘前図書館・市役所などで閲覧できます。また、弘前市議会ホームページの会議録検索システムでもご覧いただけます。

野村　太郎
（無所属（東雲））

熊対策について

問　現状と今後の取組について伺う。

答　11月末時点での目撃件数は155件、捕獲数は372頭で過去最多を記録した。このような状況を踏まえ、災害時のような対応が必要と考え、「弘前市クマ被害危機管理対策会議」を開催するとともに、捕獲用箱わな緊急購入事業費補助金の創設など緊急的な対策を講じてきたところである。このほか市街地付近等での熊出没に即座に対応できるようガバメントハンターの通年雇用を検討中である。

なかよし会について

問　最近問題となっている過密状態についての状況を問う。

答　学童保育の需要増加に伴い、開設場所の拡張が課題となっている。省令等で示されている登録児童一人当たりの面積基準を満たすなかよし会は、令和６年度では２施設にとどまっている。

千葉　浩規
（日本共産党）

内水ハザードマップ等について

問　市民への周知について答えよ。

答　マップの記載内容には国の基準に基づき、時間最大降雨量150ミリメートル、総降雨量317ミリメートルとした場合に、既存の排水路や道路側溝が排水能力を超えて浸水する区域や予想される浸水の深さを色分けして示すほか、避難所や防災関連情報など緊急時に必要となる情報が網羅される。下水道計画区域内にお住まいの方のほか、下水道計画区域外の方や市外の方もマップの確認ができるよう令和７年12月中に市ホームページへ掲載するほか市役所、岩木庁舎、相馬庁舎及び各出張所において閲覧できるようにしていく予定。毎戸への配布については、来年度改訂予定の防災マップの配布に合わせ、できるだけ早い時期に実施したい。

〈その他の質問項目〉

○地域公共交通　○米生産と米価高騰

石山　敬
（創和・公明）

森林環境譲与税の活用と森林経営管理制度の進捗状況について

問　森林整備に関する取組状況を森林環境譲与税の活用を含めて伺う。

答　森林環境譲与税は、林地台帳システムの運用や木材の普及啓発事業のほか、森林経営管理制度に基づく取組にも活用している。この制度に基づき、市内の森林面積２万3600ヘクタールのうち、個人や団体等が所有する私有林約7,300ヘクタールについて意識調査をし、約1,400ヘクタールの私有林で、市に対して経営管理の委託希望があった。委託希望のあった森林についての調査結果を踏まえ、今年度から坂元地区と百沢地区の２か所、約36ヘクタールを対象に、適切な森林経営を行うための方針を定める「経営管理権集積計画」の策定に取り組んでいる。

〈その他の質問項目〉○有機資源の活用について　○農地流動化について

工藤　賢生
（奏望会）

健康都市弘前の実現に向けた環境づくりの取組について

問　歩きたくなるまちなか形成事業の取組について伺う。

答　取組を着実に継続し、まちなかの回遊性やさらなるにぎわいを創出していき、それが面的に広がることで周辺地域への波及効果にもつながるよう、引き続き官民連携で居心地が良く歩きたくなるまちなかの実現に向け取り組んでいく。

問　持続可能なりんご生産の取組について伺う。

答　これまで日本一のりんご産地の基盤強化・維持発展に向けて、多くの課題に対し迅速に、そして創意工夫による様々な対策を講じてきた。引き続き多くの課題に対して、迅速かつ丁寧に対応し、生産者が安心して営農できる環境づくりに努め、次の100年につながる持続可能なりんご産地の実現を目指していく。

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。
ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

令和７年第４回定例会日程（27日間）　傍聴者数：43人

11月28日（金）	本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明
11月29日（土）～12月８日（月）		議案熟考
12月９日（火）～12月11日（木）	本会議	一般質問
12月12日（金）	本会議	一般質問、議案付託
12月15日（月）	特別委員会	議会改革
12月16日（火）	常任委員会	経済文教、建設、総務、厚生
12月17日（水）	常任委員会	予算決算
12月18日（木）～12月23日（火）		議事整理
12月24日（水）	本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

令和７年は延べ212人が傍聴しました。日程をご確認のうえお気軽にお越しください。

弘前市マスコットキャラクターたか丸くん りんごバージョン

外崎　勝康
（創和・公明）

星と森のロマントピア再生等の計画

問　市の課題及び計画等に関し伺う。

答　これまで活用してきた国の補助金の返還や、過疎債の償還という課題も考慮しつつ、宿泊施設を独自に運営できる新たな民間事業者を多面的に探るとともに、スキー場や天文台等の施設や機能を維持し、住民の福祉の増進に努めていく。

不登校への具体的対策及び将来計画

問　不登校児童に係る対策等を伺う。

答　10月に公表された国の調査で、全国小中学校の不登校児童生徒数が令和６年度に過去最多となり、当市の市立小中学校では児童生徒100人当たり3.4人。教育委員会では、保護者の相談窓口の設置や「こども悩み相談電話」を設置する等の取組を行っており、今後も児童生徒及び保護者を支援する体制の充実に努める。

〈その他の質問項目〉

○地域経済と物価高騰への対策

畑山　聡
（創和・公明）

歳入歳出決算書の不納欠損額について

問　櫻田市長の２期目３年間の不納欠損額の総額とその理由は。

答　不納欠損に至った理由には、不納欠損額が大きい市税では無財産、生活困窮、居所不明等となっており、無財産とは、預貯金、不動産などの差押え可能な財産がない状況のことである。生活困窮は滞納者が現に生活保護法の適用を受けている場合、また、当面の生活費や最低限の居住用不動産、個人事業に欠くことのできない自動車、機械・設備といった滞納者の財産に対し差押えをしてしまうと、滞納者が生活保護法の適用を受けなければ生活を維持できない程度の状態になるおそれのある場合をいう。居所不明等によるものは、滞納者の住所または居所及び財産がともに不明な場合である。一般会計の令和４年度から６年度までの不納欠損総額は、３億8221万7236円である。

竹内　博之
（弘前さくら未来）

櫻田市長２期目の財政運営の成果と課題について

問　基金残高の減少などへの考えは。

答　近年の激変する社会情勢に、財政規律に留意しながら対応してきた結果、令和６年度末における基金残高は減少したものの、地域経済の活性化や所得の向上などにつなげていくために必要なことであったと認識している。

弘南鉄道大鰐線廃止後の経営持続性と市の支援スキームについて

問　どのように支援等をしていくのか市の考えを伺う。

答　市としては、まずは弘南線・大鰐線の安定運行の確保に注力するとともに、市民の皆様に安心して移動していただけるよう、県及び沿線市町村、関係機関と連携し、弘南線の沿線にとってふさわしい、持続可能な地域公共交通について検討していく。

竹浪　敦
（創和・公明）

弘前大学と弘前市の関係性と連携について

問　弘前大学との地域連携について。

答　「産業振興」に関しては、当市と共同で運営している「ひろさき産学官連携フォーラム」において、白神山地で新たに採取した天然酵母の活用に向けた研究が進んだ結果、日本酒やシードルなど32品目が商品化につながるなど、地域資源を生かした産業振興につながっている。

問　弘前大学が及ぼす経済性について。

答　弘前大学が発行している「国立大学法人弘前大学レポート2020」において、立地していることによる地域への経済波及効果について、教育・研究・診療活動、学生や教職員の消費活動、受験生の来訪時の消費、施設整備活動の４つの視点で行った試算によると、令和元年度の推計値で、青森県全体が年間530億円、そのうち弘前市が年間399億円とされている。

議案等に対する各議員の賛否状況

議案は、○は賛成、●は反対。請願は、○は採択、●は不採択。
※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

議案等名	採決結果	須藤江利加	工藤裕介	志村洋子	三浦行	工藤賢生	竹内博之	樋川篤子	竹浪敦	成田大介	坂本崇	齋藤豪
弘前市手数料条例及び弘前市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
弘前市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
弘前市議員報酬、費用弁償等の額及びその支給方法条例の一部を改正する条例案	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
弘前市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
地域の医師不足解消に関する請願書	不採択	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●
地域医療を守るための社会保障制度の拡充を求める請願書	不採択	○	○	●	○	●	○	●	●	●	●	●

松橋　武史
（滄桑之会）

櫻田市長の政治姿勢、宮下青森県知事との関係について

問　市長は市民のために宮下宗一郎知事と良好な関係を築く努力をしてきたのか。

答　これまでも情報共有を図った上で県と連携した取組を進めてきた。市民は県民でもあり、住民の幸福を追求する点で目指すところは県も市も同じである。今後も互いの役割を意識しながら各種施策を推進し、住民福祉の向上を図っていく。

下水道施設の点検等について

問　どのような点検を行っているのか。

答　当市では、地上部からマンホール内に管口カメラを入れ、マンホールと下水道管渠内部を同時に点検している。今後も新たな点検技術にも注目しながら、法定耐用年数を超えている箇所や主要な管渠などの重要施設について、予防保全型の点検を計画的かつ継続的に行い、市民が安全安心に暮らせるよう努めていく。

石岡　千鶴子
（無所属（りんごの会））

鳥獣害対策について

問　当市における熊の出没件数と捕獲の実績及び熊対策について。

答　11月末時点における熊の目撃件数は155件、捕獲数は372頭となっている。今年度の熊対策について検証を行い、生産者、ハンター、警察、消防等の地域と関係機関が一体となって、迅速かつ効果的な熊による被害防止対策を進め、さらなる対策の強化を図っていく。

狭隘（あい）道路について

問　狭隘（あい）道路の拡幅整備に関する要綱作成について、現在の進捗状況は。

答　狭隘（あい）道路解消の手法として、事業効果が高いと認識している「路線型」で要綱の素案を作成している。地域の実情等に適した要綱を制定するために、市内に存する狭隘（あい）道路の１か所ごとの延長等を把握し、データを整理する必要があることから、要綱の制定に時間を要している。

工藤　光志
（弘前さくら未来）

櫻田市長の政治姿勢について

問　これまでの施政方針の検証。

答　施政方針に掲げた取組は、弘前市総合計画審議会での市民参加及び専門的な視点による審議を経て、毎年度、事務事業等の達成度や執行状況を評価し、改善策を検討して見直しを行っていく「ＰＤＣＡサイクル」により、効果検証を実践。地域経済の活性化、教育・子育て支援、防災、ごみ処理、環境保全、インフラ整備、高齢者支援、医療体制強化、地域文化・スポーツ振興など、様々な課題を解決してきた。「健康都市弘前」の実現に向け、これまでの取組の評価をしっかりと意識し、分野横断的に施策を展開しながら、効果の発現に相応の期間を要するものは、中長期的な視点で着実かつ的確に取り組んでいる。市では、今後も市民が将来にわたり住み続けたいと思えるまちづくりに、総力を挙げて取り組む。

弘前市議会ホームページのご案内

https://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、本会議開催状況（議会の日程）など、市議会の情報をご覧いただけます。

弘前市議会のホームページは
こちらから→

議会を傍聴しませんか

議会（本会議、委員会など）は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館４階で受付しております。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継のほか、市役所前川新館１階市民ギャラリーのモニターテレビで中継放送もしております。

次回定例会日程（予定）

（2月13日(金)	議会運営委員会	会期日程等の協議）
2月20日(金)	開会日（本会議）	開会、会期の決定、提案理由の説明
3月19日(木)	閉会日（本会議）	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

ーは採決に加わらなかったもの。
議長（尾﨑寿一）は採決に加わっていません。

蛯名正樹	畑山聡	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾﨑寿一	蒔苗博英	松橋武史	石岡千鶴子	三上秋雄	佐藤哲	工藤光志	清野一榮	田中元
○	○	○	○	●	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	●	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	●	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	●	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○
●	●	●	●	○	●	●	―	●	●	○	●	●	●	●	●
●	●	●	●	○	●	●	―	●	●	○	●	●	●	●	●

令和７年第４回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、可決となりました。

市長提出議案：30件

予算関係：12件、条例関係：11件、その他：７件

会派一般行政視察

無所属議員（りんごの会　石岡　千鶴子）

10月30日(木)～11月1日(土)

①山梨県南アルプス市
自然と共生したまちづくりの取組について

②山梨県韮崎市
南アルプスユネスコエコパークについて

南アルプス市にて

弘前さくら未来

11月17日(月)～18日(火)

①福島県いわき市
いわき市体験型経済教育施設
Ｅｌｅｍについて

いわき市にて

滄桑之会

11月19日(水)～20日(木)

①高知県高知市
高知市立義務教育学校土佐山学舎について

高知市にて

会派の名称が変更となりました

櫻鳴会（おうめいかい）　→　滄桑之会（そうそうのかい）　（令和７年 11 月 18 日付）

委員会等活動報告

厚生常任委員会

10月19日(日)～22日(水)　行政視察

〇京都府京都市　「さすてな京都」について
〇東京都練馬区　ひきこもり支援について
〇東京都西東京市　健康ポイントアプリ「あるこ」について

12月2日(火)　弘前市医師会館

弘前市医師会との懇談会
〇市議会厚生常任委員会からの質問・意見等について

経済文教常任委員会

10月27日(月)～29日(水)　行政視察

〇山口県下関市　鳥獣被害対策について
〇山口県宇部市　コミュニティ・スクールについて

建設常任委員会

10月15日(水)　市役所

〇まちづくり計画について

11月25日(火)　市役所

〇除排雪計画について
〇樋の口浄水場等建設事業について
〇上下水道老朽管の更新計画及び状況について

12月16日(火)　樋の口浄水場

〇樋の口浄水場の建設状況について

議会改革特別委員会

10月23日(木)、11月27日(木)　市役所

〇議員定数に関することについて
〇通年議会に関することについて
〇次の委員会の開催日について

12月15日(月)　市役所

〇通年議会に関することについて
〇本会議における中間報告について
〇次の委員会の開催日について

ひろさき市議会だより編集特別委員会

10月23日(木)　市役所

〇掲載内容について

12月24日(水)　市役所

〇掲載内容について　〇編集日程について

社会科見学の受け入れ

11月20日(木)弘前大学教育学部附属小学校６学年の児童84名が議場を訪れ、議会の仕組みや市議会の役割について、クイズを交えながら学びました。

児童たちは、議会で行われていることや議員の活動などについて、積極的に手を挙げて答えるなど、熱心に学習していました。市議会では、まちづくりを身近に感じてもらえるよう、今後も見学を受け入れていきます。

表紙写真大募集!!

◎テーマ　弘前市内で撮影された写真（風景・まつり・イベントなど）
◎規格　デジタル写真データ（JPEG形式、サイズ１MB以上、横撮りのみ）
◎応募資格　弘前市に在住・在勤・在学の方
◎応募方法　写真タイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送または持参。
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
※左のＱＲコードを読み取るとメールの作成画面が開き、簡単に応募できます。
◎締め切り　令和８年７月10日(金)
◎掲載時期　令和８年９月発行予定の第87号

メール作成画面のQRコード

ひろさき市議会だよりについて、ご意見・ご感想などがありましたら、ＴＥＬ・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。

発行／弘前市議会　編集／ひろさき市議会だより編集特別委員会
〒036-8551 弘前市大字上白銀町1-1　☎ 35-1121
ファクス 35-3005　Eメール gikai@city.hirosaki.lg.jp

VEGETABLE OIL INK ひろさき市議会だよりは環境にやさしいインキを使用しています。